

カリキュラムマップ

学部・学科名	文学部 歴史文化学科
--------	------------

学部の卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。文学部の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上（基礎共通科目又は国際言語文化科目16単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目104単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(文学)又は学士(社会学)の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 世界に通用する国際教養力を有しています。
- (5) 人文科学の諸分野に関して基本的な知識を修得しています。
- (6) 自己の意見を分かりやすく主体的に説明する能力を有しています。
- (7) 的確な問いをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。

学科の卒業認定・学位授与の方針

甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。歴史文化学科の教育基本方針のもと、卒業必要単位数130単位以上（基礎共通科目又は国際言語文化科目16単位 外国語科目8単位 保健体育科目2単位 専門教育科目104単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士(文学)の学位を授与します。

- (1) 自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観を意識することができ、自らを律し、他者と協調・協働することができます。
- (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。
- (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。
- (4) 自文化と異文化への理解に裏付けられた、世界に通用する国際教養力を有しています。
- (5) 歴史学、地理学・民俗学の諸分野に関する基礎的で領域横断的な知識と常識を有しています。
- (6) 自らの考えを適切な手段によって表現し、他者に伝える力を有しています。
- (7) 的確な問いをたてて、時代性・地域性をふまえて問題解決を図る意志と能力を有しています。

学科の教育課程編成・実施の方針

文学部歴史文化学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、国際言語文化科目、外国語科目、保健体育科目、一般情報科目、キャリア創生共通科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。特に、文学部及び本学科では、①学生一人ひとりの顔が見える少人数クラス、②基礎・応用・発展の積み上げ方式による段階的学修、③研究リテラシー、問題解決能力、専門分野の知識の3本柱による系統的学修の考え方で教育課程を編成し、実施します。

また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。

カリキュラムは、各科目において学生が修得したGPA及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。

教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。

1) 教育内容

- (1) 初年次における基礎演習を必修とし、基礎的な読解力及び表現力を育成します。
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。
- (3) 全学共通科目である、建学の理念と専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識を学ぶ基礎共通科目、異文化理解について学ぶ国際言語文化科目を配置します。
- (4) 少人数のゼミで調査研究や討議の方法を学び、問題解決能力などの社会人基礎力を育成します。
- (5) 専攻分野に関する知識及び論理的思考力を習得するため、初年次段階から年次進行に合わせて段階的に高度化する専門科目を体系的に配置します。
- (6) 各自の天賦の特性と専攻分野に関する知識を社会でどのように生かしていくのかを考えるとともに、社会で活用できる力を身につけるため、キャリア教育並びにキャリア形成支援を1年次から4年次まで継続的に実施します。
- (7) 地域を分析する学びを通じて、自己と他者を総合的に捉える力を養います。
- (8) 卒業研究(卒業論文)により、在学中に学んだことを集大成します。

2) 教育方法

- (1) 1)に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。
- (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習・演習などを重視したクラス編成を行います。
- (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。
- (4) 成績評価をGPAで表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。

3) 学修成果の評価

学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

到達目標		対応する卒業認定・学位授与の方針(学科)の番号
A	基礎的な知識・読解力・理解力・表現力を修得する。【基礎力】	(2)(5)
B	自らの考えを適切に表現し、他者に伝える力を修得する。【表現】	(6)
C	時代・地域性をふまえて問いを立て、それを考える力を修得する。【問題発見】	(7)
D	史料調査やフィールドワークの方法を修得する。【調査や方法】	(5)
E	専門性と学際性に基づき、学術的に考える力を修得する。【学術的思考】	(5)
F	地域の分析を通じ、対象を総合的に捉える力を修得する。【地域理解】	(4)
G	歴史の分析を通じ、時間を総合的に捉える力を修得する。【時間軸】	(4)
H	学科の学びを統合し、社会に生かす力を修得する。【学びの統合】	(1)(2)

	授業科目名	単位数	配当年次	到達目標										
				A	B	C	D	E	F	G	H			
必修科目	基礎演習Ⅰ	2	1	○	○									
	基礎演習Ⅱ	2	1	○	○		○							
	日本学	2	1	○		○								
	演習Ⅰ	2	2		○	○	○						○	
	演習Ⅱ	2	2		○	○	○						○	
	演習Ⅲ	2	3		○	○	○						○	
	演習Ⅳ	2	3		○	○	○						○	
	卒業研究	8	4		○	○	○						○	
基本科目	阪神文化論Ⅰ	2	1				○			○				
	阪神文化論Ⅱ	2	1				○			○				
	日本史概説Ⅰ	2	1	○							○			
	日本史概説Ⅱ	2	1	○							○			
	西洋史概説Ⅰ	2	1	○							○			
	西洋史概説Ⅱ	2	1	○							○			
	アジア史概説Ⅰ	2	1	○							○			
	アジア史概説Ⅱ	2	1	○							○			
	地理学の諸問題Ⅰ	2	1	○							○			
	地理学の諸問題Ⅱ	2	1	○							○			
	民俗学の諸問題	4	1	○							○			
	現代史Ⅰ	2	1	○								○		
	現代史Ⅱ	2	1	○								○		
	現代史Ⅲ	2	1	○								○		
	日本史研究Ⅰ	2	2						○		○			
	日本史研究Ⅱ	2	2						○		○			
	西洋史研究Ⅰ	2	2						○		○			
	西洋史研究Ⅱ	2	2						○		○			
	アジア史研究Ⅰ	2	2						○		○			
	アジア史研究Ⅱ	2	2						○		○			
	地誌Ⅰ	2	2						○	○				
	地誌Ⅱ	2	2						○	○				
	人文地理Ⅰ	2	2			○				○				
	人文地理Ⅱ	2	2			○				○				
	民俗文化研究Ⅰ	2	2			○				○				
	民俗文化研究Ⅱ	2	2			○				○				
	日本史特論	2	3						○		○	○		
	西洋史特論	2	3						○		○	○		
	アジア史特論	2	3						○		○	○		
	文化地理学	2	3							○			○	
	発展科目	日本文化史	2	1			○		○					
		西洋社会史	2	1			○		○					
アジア文化史		2	1			○		○						
歴史と美術		2	1			○		○		○				
歴史と思想		2	1			○		○		○				
歴史と自然		2	1			○		○	○					
考古学Ⅰ		2	1	○		○								

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標								
				A	B	C	D	E	F	G	H	
発展科目	考古学Ⅱ	2	1	○		○						
	社会意識論	2	1					○	○	○		
	自然地理学	2	1	○					○			
	都市空間論	2	1	○					○			
	美術史I	2	1	○								
	美術史II	2	1	○								
	文化交流史	2	2			○		○			○	
	技術と文化	2	2			○		○			○	
	地理と情報I	2	2				○			○		○
	地理と情報II	2	2				○			○		○
	日本史史料研究I	2	2		○	○	○					
	日本史史料研究II	2	2		○	○	○					
	日本史史料研究III	2	2		○	○	○					
	日本史史料研究IV	2	2		○	○	○					
	西洋史史料研究I	2	2		○	○	○					
	西洋史史料研究II	2	2		○	○	○					
	西洋史史料研究III	2	2		○	○	○					
	西洋史史料研究IV	2	2		○	○	○					
	アジア史史料研究I	2	2		○	○	○					
	アジア史史料研究II	2	2		○	○	○					
	アジア史史料研究III	2	2		○	○	○					
	アジア史史料研究IV	2	2		○	○	○					
	地理学・民俗学資料研究I	2	2		○	○	○					
	地理学・民俗学資料研究II	2	2		○	○	○					
	地理学・民俗学資料研究III	2	2				○			○	○	
	地理学・民俗学資料研究IV	2	2		○	○	○					
	ブリティッシュ・スタディーズI	2	2						○	○		
	ブリティッシュ・スタディーズII	2	2						○	○		
	アメリカン・スタディーズI	2	2						○	○		
	アメリカン・スタディーズII	2	2						○	○		
	映像文化論	2	2						○	○	○	
	現代文化論	2	2	○								
	地域社会論	2	2							○		
	イメージと神話	2	2	○								
	実践地域学	2	3					○		○		○
	古文書学I	2	3					○			○	
古文書学II	2	3					○			○		
観光文明学I	2	3					○		○		○	
観光文明学II	2	3					○		○		○	
歴史文化特殊講義I	2	3						○		○	○	
歴史文化特殊講義II	2	3						○		○	○	
歴史文化特殊講義III	2	3						○		○	○	
歴史文化特殊講義IV	2	3						○		○	○	
関連科目	博物館概論	2	1	○								○
	博物館教育論	2	1		○							○
	博物館経営論	2	2		○							○
	博物館資料論	2	2					○				○
	博物館展示論	2	3		○							○
	博物館資料保存論	2	3					○				○
	博物館情報・メディア論	2	3		○							○
	博物館実習I	1	2		○							○
	博物館実習II	1	3		○							○
	博物館実習III	1	4		○							○
	生涯学習概論	2	1	○								○
	社会人間学	2	2	○								

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標									
				A	B	C	D	E	F	G	H		
関連科目	社会学概論	2	2	○									
	文化人類学	2	1					○	○				
	多文化共生論	2	1					○	○				
	社会調査法	2	2				○		○				
	フィールドワーク研究	2	2				○		○				
	法律学概論	2	2	○									
	政治学入門	2	1	○									
	政治学原論	2	2	○									
	哲学思想基礎論I	2	1	○									
	哲学思想基礎論II	2	1	○									
	倫理思想基礎論I	2	1	○									
	倫理思想基礎論II	2	1	○									
	宗教論I	2	2	○									
	宗教論II	2	2	○									

※全学部共通科目については、別ファイルで掲載しています。